

令和4年宇治田原町議会活性化特別委員会

令和4年12月14日

午前11時24分開議

議 事 日 程

日程第1 中学生議会について

日程第2 ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて

日程第3 その他

1. 出席委員

委員長	3番	馬場	哉	委員
副委員長	7番	藤本	英樹	委員
	1番	山内	実貴子	委員
	2番	榎木	憲法	委員
	4番	森山	高広	委員
	5番	山本	精	委員
	6番	宇佐美	まり	委員
	8番	今西	利行	委員
	9番	上野	雅央	委員
	10番	原田	周一	委員
	12番	浅田	晃弘	委員

1. 欠席委員 なし

1. 職務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

事務局 長	矢野	里志	君
庶務 係 長	重富	康宏	君

---

開 会 午前11時24分

○委員長（馬場 哉） 皆さんこんにちは。

予算特別委員会に引き続き、ご苦労さまでございます。

本日は、議会活性化特別委員会を招集いたしましたところ、委員の皆様にはご出席をいただき誠にありがとうございます。

本日は、中学生議会、ハートウォーミング自治体議会Webサミットについて協議いたしましたと思います。

本日の委員会において、不適切な発言等がありました場合には、委員長において精査を行うことといたします。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（馬場 哉） ありがとうございます。

ただいまの出席委員数は11名でございます。定足数に達しておりますので、直ちに本日の議会活性化特別委員会を開きます。

会議は、お手元に配付しております会議日程及び資料等により進めさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

日程第1、中学生議会について。

お手元に中学生議会の開催要項と、それからこのたび中学生から出てきました質問に対しての各議員の答弁の資料を配付させていただいております。

まず、中学生議会の開催要項をご覧いただきたいと思います。昨年度より進めてまいりました中学生議会ですけれども、一昨年は答弁をお返しするというだけで、コロナ禍のため終わってしまいましたが、今年度はコロナ禍も終息の方向に向かっている様子も感じられ、ある程度の人数であれば集まることも可能な状況になりましたので、中学生議会を当初の予定通り議場でいよいよ今週18日の日曜日に開催する運びとなりました。

目的につきましては、資料等にもございますけれども、まちづくり授業を経験している中学生が、議員となって議場で質問を行い意見交換をすることによって、まちづくりを考える場とするとともに、議場の雰囲気を経験していただき身近な町政の業務の一端を学ぶことにより、町議会への関心を高めてもらう目的があります。

主催につきましては、宇治田原町議会と議会活性化特別委員会でございます。

日時は12月18日日曜日の午前9時30分から午前11時までで、あとで説明しま

すが議員の皆さんの集合時間はあと1時間ほど早くなると思います。

場所につきましては、役場の3階議場でございます。

内容につきましては、ここに記載のとおりですが、後ほど議場でシュミレーションを行いますので、その時に詳しく説明させていただきたいと思います。

それと中学生につきましては、主権者教育の一環で選挙について少し体験をしていただきたいということで、先日も我々が行いました議長選挙、副議長選挙を中学生に体験してもらうということです。

正副議長が決定次第、中学生が議員ということで執行部側である我々に質問をされ、私たちが執行部としてお答えをするといういつもの流れを中学生にも体験していただくということでございます。

傍聴席につきましては開放いたしまして、父兄の方々、また学校関係者の方々が来られると思いますのでよろしくお願いいたします。

それでは資料のほうですね。まず当日の進行表をお配りしていると思いますけれども、この委員会が終わり次第、議場の方で人の流れも含めたシュミレーションをしたいと思うんですけれども、まず文面ということで、この資料に基づいて説明させていただきたいと思います。

まず1ページ目の9時30分の開会から説明させていただきたいと思います。私の方から開会の宣言をさせていただきます、続きまして浅田議長により、まず開会のあいさつ、続いて9時40分から中学生の中で、我々も行いましたとおり、議長・副議長選挙の模擬投票を中学生に体験してもらいたいと思います。流れにつきましてはここに記載のとおりでございますので、委員の皆さんにもこれを熟読の上、当日までにしっかり頭の中に入れていただきますようよろしくお願いいたします。

模擬投票が終わりましたらいよいよ中学生議会なんですけれども、中学生議会につきましては、先日から皆さんに出てきた質問に対する答弁書をご依頼させていただきまして、それぞれの議員がこういう答弁書を作られたという一覧表を資料で付けております。参考に1ページ目の浅田和音さんについて、ちょっと取り上げさせていただきますけれども、子どもたちは多岐にわたって質問されておりまして、浅田和音さんについて見ますと1番の電車が走っていないというところから4番の交通機関を充実させるというところまで、4件の質問をされているところでございます。この進行につきましては通常やっているとおり一問一答でございますので、なぜ電車が走っていないのかとう1番目の浅田さんの質問に対して、答弁の作成責任者である藤本委員が答弁を行うと。

その答弁が終わった後、また浅田さんが2番目のバスの本数を増やせないのかという質問があって、また藤本委員が答弁をされるという通常行っている一問一答で1番の質問があればそれに対する答弁、続いて2番の質問があれば2番の答弁という形でございます。

ただ、当日ランダムというか仮に1番の質問を中学生がされて、藤本委員の答弁に浅田さんがその答弁にもう少しつっこんで質問をされたいと、追加の質問が1番にあった場合は、その追加の質問は資料を作っておりませんので、当日は浅田委員また山内委員の正副議長において臨機応変に対応していただくというところがこの議会の趣旨ですので、そこはお二方がもし追加の質問があった場合は答弁書を作っておりませんので臨機応変に対応していただきたいと思います。

ということで他の委員さんの他の中学生の質問についても同じことですので一問に対してそれぞれの委員が答弁に立っていただくということでございます。

ここまでで何か分からない点がございますか。榎木委員。

○委員（榎木憲法） 追加の質問があったら議長、副議長が答えてくれるということよろしいんですか。

○委員長（馬場 哉） 追加の質問があった場合はそのとおりです。榎木委員。

○委員（榎木憲法） わかりました。

○委員長（馬場 哉） 原田委員。

○委員（原田周一） 全てのことを議長、副議長が答弁するんですか。

○委員長（馬場 哉） 違います。例えば浅田和音さんが1番目の質問をされて、それに対して藤本委員が答弁をされます。仮に浅田さんがその答弁に納得がいかない場合は追加の質問で手を挙げられます。現状、シナリオができていますのでおそらく無いとは思いますが、仮にあった場合は、浅田さんが2回目の質問をされたことに対しての答弁を作っておりませんので、それについては浅田委員、山内委員の正副議長が臨機応変に対応して答弁していただくということです。原田委員。

○委員（原田周一） 前の時は各答弁者の議員が、答弁すると説明してたのでは。

○委員長（馬場 哉） そこは違います。当初から正副議長が臨機応変に対応すると説明していました。原田委員よろしいですか。

○委員（原田周一） わかりました。

○委員長（馬場 哉） それから、委員皆さんの答弁については自席で立っていつも当局がやっているように答弁してください。

(「マイクは自分で入れるのか」と呼ぶ者あり。)

○委員長(馬場 哉) マイクは事務局が操作して自動で入ります。それから答弁は演台に行っていただく必要はありません。浅田委員につきましては、当日議長としての開会のあいさつはもちろん演台でお願いします。他に質問はございますか。今西委員。

○委員(今西利行) 私の場合は、伊藤さんの質問で非常に長いのですが、一つと考えていいんですね。

○委員長(馬場 哉) 伊藤さんの場合は長い質問ですが、一つです。伊藤さんの方から2つめの質問があれば、浅田委員と山内委員の正副議長が対応されます。よろしいですか今西委員。

○委員(今西利行) はい。わかりました。

○委員長(馬場 哉) 他にございますか。山本委員。

○委員(山本 精) 例えば浅田和音さんの質問の中に、バスの本数を増やしてほしいというのがありますね。そして上田莉子さんのところにも同じような質問がありますね。これは答弁者が変わるのをおかしいと思うのですが。

○委員長(馬場 哉) それをやってしまうと最初から全部やり直しになってしまうので、中学生の議員さん一人に対して担当の委員一人を決めましたので同じような答弁になりますけど、2回目に答弁される方は臨機応変に先ほども質問がありましたかと付け加えていただければ大変ありがたいかなと思います。中学生にとってもこのシナリオと違うことをやってしまうと混乱されるので、このとおりに進めていただきたいと思います。山本委員よろしいでしょうか。

○委員(山本 精) 結構です。

○委員長(馬場 哉) 原田委員。

○委員(原田周一) 2ページ目の最後に議席のことが書かれているのですが、藤本副委員長から議席順に指名されて、その後に議長選挙が行われるということですが、本来ならば議長、副議長の席を1番、2番ということなんですが、これはあくまで指名したら変えないということなんですね。1番から5番まで着席されたら、選挙の結果にかかわらず変わらないのですね。例えば議席番号3番の生徒が副議長になるかもしれませんね。

○委員長(馬場 哉) そこは、変えません。中学生の議長は議長席に行かれます。原田委員。

○委員(原田 周一) 議長になる生徒が何番の席かわからない。仮に3番あるいは4番の生徒が議長になったらそこは空席になるのですね。

○委員長（馬場 哉） 空席ができるかもしれないけど、そこは仕方ない。一応議席の標柱に氏名を表記してあげることにしていますので。藤本委員。

○副委員長（藤本英樹） 中学生の議員が5人やったら、真ん中に5人並ぶということでもよろしいですか。

○委員長（馬場 哉） 一番端からでなくて、真ん中に5人です。山本委員。

○委員（山本 精） 中学生の議長が質問する時は、副議長が議長を代理することになると思うんですが、その時間はちゃんと与えるんですね。

○委員長（馬場 哉） もちろん、そうです。副議長が議長席へというシナリオを作ります。この5人の中で議長を選ぶのですから、当然1人は前に行くので副議長と交代という形になります。よろしいですか、山本委員。

○委員（山本 精） はい。

○委員長（馬場 哉） 森山委員。

○委員（森山高広） この答弁の中に、Wi-Fiとかが出てきてて、その答えがちょっと違うんじゃないかなと思うんですけど。

（「誰の何ページ」と呼ぶ者あり。）

○委員（森山高広） 山本委員の答弁で、上田莉子さんの4ページの質問で山の中でもWi-Fiを飛ばしてほしいと質問があるんですが、Wi-Fiと普通の通信は全く別物なので、Wi-Fiというのはだいたい30メートルくらいしか飛ばないので基本的に山とかは無理。

○委員長（馬場 哉） 生徒はWi-Fiと電話の通信を混乱してるので、生徒にWi-Fiじゃないんだよと教えてないのは、山本委員がそこは上手に、おっしゃっているのは携帯電話の電波のことですねと答弁を始めていただいたらどうですか。

（「携帯ということではないでしょう」と呼ぶ者あり。）

○委員長（馬場 哉） 山の奥まで携帯の電波が届いてないということを言いたいんでしょう、彼女は。原田委員。

○委員（原田周一） 携帯は携帯でしょ。Wi-FiはWi-Fiですよ。極端に言えば山の中でもパソコンが使えると、インターネットが使えるという環境はないんですかと聞いてるんでしょ。

○委員長（馬場 哉） 山の中でも公民館とかにWi-Fiのスポットを作るとか、そういうことですかね。原田委員。

○委員（原田周一） そうですよ。

○委員長（馬場 哉） 山本委員。

○委員（山本 精） 前にも言ったように、事前に話しをして質問する者にちょっとおかしいですよと話をしないとイケないですよ。

○委員長（馬場 哉） それは今後の反省点といたします。暫時休憩します。

休憩 午前11時55分

再会 午前11時56分

○委員長（馬場 哉） 答弁はそのままといたします。最後に役割の確認だけさせていただきます。流れの3ページをご覧ください。中学生の議員は先ほども申し上げましたが、名前を標柱に書きます。それからこの委員会室を中学生及び保護者の控え室とさせていただきます。それぞれの委員の役割分担ですけれども、3階の受付を山本委員と山内委員に。案内ということで、駐車場に上野委員、庁舎2階の宇治田原ルーフの階段の下、それから榎木委員が2階の入り口、エレベーターの入り口ですね。それから森山委員についても2階のエレベーターの前ということで。3階のロビー前は宇佐美委員をお願いします。それから記録写真ですけれども、これは広報ということですので、宇佐美委員と森山委員、それぞれ答弁されますけれども、合間を見ながらやっていただきたいと思います。それから議長選挙の時の配席ですけれども、浅田委員は議長席、私の方は事務局長席に座ります。続いて藤本委員が総務担当理事席、山内委員は教育長席、榎木委員につきましては総務課長席、森山委員については企画財政課長席、山本委員が建設事業担当理事席、宇佐美委員が子育て支援課長席、今西委員は教育次長席、上野委員は産業観光課長席、原田委員が都市整備政策監席に座っていただきます。後でシュミレーションのために議場で確認をさせていただきます。

はしりましたが中学生議会の説明は以上でございます。何かございましたら。榎木委員。

○委員（榎木憲法） 会場の案内のところで、正面玄関は当日開かないのでしょうか。

○委員長（馬場 哉） そうです。榎木委員。

○委員（榎木憲法） 2階の階段の所から入っていくんですね。

○委員長（馬場 哉） はい。当日はワクチン接種がなくなりましたので正面玄関は開いていません。他にございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（馬場 哉） ないようでございますので、続きまして日程第2、ハートウォーミング自治体議会Webサミットについてを議題といたします。

資料をご覧いただきたいと思います。第2回のサミットにつきましては、前回は2月14日に開催したんですけれども、令和5年も2月14日に開催する運びとなりました。

目的につきましては、資料に記載しておりますけれども、本町議会が全国のハートをキーワードにしている自治体の議会に呼びかけ、ハートウォーミング、心が温まる自治体運営における議会の役割をテーマにして、今後のハートを標榜する自治体の連携について、オンライン形式によるサミットを実施するものでございます。

主催は、宇治田原町議会の議会活性化特別委員会、日時につきましては、令和5年2月14日火曜日午前10時から正午まででございます。場所につきましては、それぞれの自治体の議会からオンラインで参加されるということでございます。

内容ですけれども、Zoomを使ったサミットを行いまして、前回も行いましたが、特産品及び市町の紹介でございます。前回より声かけをさせていただいておりました沖縄県南城市、それから兵庫県市川町がサミットに参加されるというところで、この2市町については特産品をそれぞれ送付していただくと、前回3町で行った特産品の紹介もまず最初に行いたいと思います。それから内容の2番目の5市町による議員会議ということで、これにつきましては、ハートウォーミングな施策のために議会が果たす役割ということで、それぞれの自治体の施策について紹介をしたいと思います。本町につきましてはハートウォーミングな施策といいますと、ハートのイラストを描いた婚姻届を実施しています。それから中学生の方に、ふるさと納税の返礼品にする特産品開発を昨年度から中学生と町職員と企業さんが共同で制作・販売されています。本町においてもこういうハートウォーミングな施策がありますし、また今回開催します中学生議会もちよつと筋は違いますが、ハートウォーミングな施策であると考えています。

それぞれの市町がどんなハートウォーミングな施策をされているかということ当日、議員による懇談をするんですけれども、沖縄県南城市、兵庫県市川町、神河町、大山崎町、それぞれ自治体がありますんで、委員の皆さんもそれぞれの市町のホームページを参考に勉強していただいて、例えば南城市さんがこういう施策をやられていますが、どんなふうにして実行されているんですかという質問を当日委員の皆さんから是非質問していただきたいと思いますので、事前に時間たっぷりでございますので、ホームページ等々ありますんで当日活発な議論展開ができるように、是非皆さん勉強の方よろしくお願ひしたいと思います。

それから内容の③につきましては、5市町による議長会談ということでございます。

これにつきましては前回も本町から提案をさせていただきましたけれども、8月10



日をハート自治体の日にするために議会としてできることはないかという趣旨で、議長による会談をしていただきたいと思います。

8月10日については、心臓財団というところが、ハートの日ということで決定をされておるんですけれども、事務局長が問い合わせところ、自治体がハートの日とすることは心臓財団も特に問題ないということなので、以前より前谷口議長がずっと念願としておっしゃっておりました8月10日をハート自治体の日とすることを前回の3町のWebサミットでも前谷口議長から提案をされましたけれども、今回ももう少し踏み込んだ形で、参加の自治体も増えましたので8月10日をハート自治体の日とするために、議会がどういう動きをしていかなければならないのかというところを、議長会談を行っていただいて話が進められるかなと思います。議会だけがハートの日と言っているだけでは、5市町の連携はできませんので、議会の方から当局の方にハートの日ということで連携してはどうかという働きかけを今後はそれぞれの市町がやっていただけると、ハートを標榜する自治体の連携が今後も実現が可能ではないかと考えておりますので、この議長会談の内容が一步進むようであれば、是非当議会としても5市町の連携のために、ハートの日の働きかけを当局の方にしていくべきではないかなと思います。この③については、議長会談ですので、浅田委員よろしくお願いします。

あとはこの資料に書いてあるとおりですので、またご覧いただきたいのですが、先ほど申し上げましたとおり議員会議を行いますので、もちろん私たちは本町が自慢できるハートウォーミングな施策を会議で紹介してもらいますし、また他市町につきましてホームページ等々で是非参考にしたい施策等が見つかりましたら、当日活発な質問、意見交換をお願いしたいので事前に勉強していただきたいと思います。

ハートウォーミング自治体議会Webサミットについては、以上で終わりたいと思います。何か分からない点がありましたら挙手をお願いします。原田委員。

○委員（原田周一） 一応今回主催が議会活性化特別委員会ということになっています。

ここで2ページ目の文章を読みますと、前回は議会運営委員会の正副委員長が進行したと。どっちかと言うと、議会運営委員会のほうでやってたんじゃないかという記憶が私あるんですけれど、そうではないんですか。今後は議会活性化特別委員会で進めていくということなんですかね。

○委員長（馬場 哉） これは資料を作った私の入力間違いです。正しくは、議会活性化特別委員会の正副委員長です。原田委員。

○委員（原田周一） この文章が間違いということですか。

- 委員長（馬場 哉） 文章が間違いです。原田委員。
- 委員（原田周一） それなら分かりました。
- 委員長（馬場 哉） 資料裏面のところで、「呼びかけた本町の議会運営委員会委員長が進行。」となっていますけれども、ここは議会活性化特別委員会の正副委員長の間違いです。他にございませんか。今西委員。
- 委員（今西利行） ホームページで勉強しておくのはいいんですが、前回は色々な資料をある程度整理されて提出していただきましたけれども、その辺りはどうですか。
- 委員長（馬場 哉） 資料につきましては、プリントアウトすると大変な紙の使用量になりますので、ホームページ等で時間がたっぷりありますので勉強していただきたいと思います。今回は議員研修で視察等々も行っていないけれども、視察する場合でも我々議員は、視察先の自治体の勉強をするんですけれども、以前から事前の資料は簡単なものしかもらっていないんです。それで行く先の自治体の勉強については、当然向こうでも当日質疑応答がございますので、それについては、それぞれがホームページで勉強していただいて、当日質問するという事です。それぞれの自治体のホームページが充実しておりますので、鋭意勉強していただいて、細かい点、最終詰めのところでは分からない点については当日のサミットの中で質問していただきたいなと思います。今西委員よろしいでしょうか。
- 委員（今西利行） 特にハートウォーミングに掛けた施策を調べたらいいんですね。
- 委員長（馬場 哉） ハートウォーミングな施策がテーマなので、子育てや高齢者に関する施策とか、それぞれの市町が頑張っていて独自にされているものもあるでしょうし、本町も見習いたいなという施策があれば、どれだけの参加人数があるのか、予算はどれくらいなのかとか、そういう質問を重点的にしていただいたらというふうに思います。よろしいですか。今西委員。
- 委員（今西利行） はい。
- 委員長（馬場 哉） 他にございませんか。浅田委員。
- 委員（浅田晃弘） 別件ですが、意見書が出てくるということを聞いています。それに対する質疑等が必要であると思いますので、12月16日、議会運営委員会終了後に議員協議会を開催して、その場で提出者に質疑を行っていただいて定例会の最終日に採決を行いたいと思いますのでよろしくお願ひします。そういうことですので、議会運営委員会の委員以外の方は、是非とも議会運営委員会の傍聴に来ていただいて、意見書の議案の提出、そして議員協議会で質疑を行っていただいて、定例会最終日に採決の流れを

確認していただきたいと思います。

○委員長（馬場 哉） 他にございませんか。なければ次に日程第3、その他について、何かこの際ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（馬場 哉） ないようですので、これで議会活性化特別委員会を閉会いたします。この後、議場で中学生議会の当日の流れを確認したいと思いますのでお集まりいただけますようよろしくお願いします。

本日はご苦労様でした。

閉会 午後0時4分

宇治田原町議会委員会条例第26条の規定によりここに署名する。

議会活性化特別委員会委員長                      馬                      場                      哉